



テーマ

松本清張『小説東京帝国大学』を読む

Ohanasi: Kimura Itirô (NRS 理事)

Hanasite kara: 『小説東京帝国大学』は、「大逆事件」など、明治末期に起こった政治的事件を「東京帝国大学」という鏡に映して描いた「セミ・ノンフィクション」(青池晨)ですが、読んでみたら、田中館愛橋を始め加藤弘之・山川健次郎・穂積陳重……といったローマ字論者が uzyauzya 出てくることに気がきました。それに興味を持った私がこの作品を再構成してまとめた『真説明治期ローマ字運動』とも呼ぶべき物語を、ここに gohirô いたします。

NRS Kenkyûkai

2015年10月18日(日)

13:30~16:00

Basyo NRS 事務所

地下鉄本郷3丁目下車

(03-3812-0021)

Kidosen 500 En (NRS 会員は tada)

主催 (公財) 日本のローマ字社 (NRS)